

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援すびか		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のあるスタッフが訪問支援をおこなっていること	訪問支援を行うスタッフの研修も積極的に行っている。	訪問支援員の数を増やし、対応できる幅をさらに広げたい。
2	訪問先の先生方が毎回お話しする時間を確保してくださっていること	初回訪問時にお話を作る時間をいただき旨をお伝えし、児童発達支援での児の様子なども積極的にお伝えしている。	先生方のご負担を増やさないう、内容の質を担保したまま時間の短縮を図る方法を検討したい。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が限られていること	基準人員は超えているものの、多機能型ということもありマンパワーが不足しやすい。	臨床心理士のみではなく、他の職種による訪問支援を行うことができるように人員体制について検討したい。
2	保護者同士が関わる場が作りにくいこと	事業の形態としても、保護者同士の交流の場が作りにくくなっている。	今年度は、定期的に保護者交流の場を開催し、働いている保護者でも参加しやすいよう場面設定を行う。
3			